



平間 智治

空家対策について

【平間】空家について区長や周辺の方から相談があった時の対応は。また、相談者への報告は。

その旨を相談者にお知らせしています。今後は、これまでより丁寧に相談者に対応・報告していきます。

【平間】空家の所有者等への支援は。

【答弁】空長屋と不良住宅の2つの補助制度があり、補助率は5分の4となっています。

空長屋は一部空家となっている長屋で、その空き家部分が危険な状態になって、お住まいの方の建物に影響を与えるものについて、その空家の解体を支援する制度で、所有者または管理者の申請により上限80万円が補助されます。



また、不良住宅解体の補助は、戸建ての建物や長屋のうち全ての住戸が空家になった場合を対象にしていて、1件あたり200万円を上限に解体費補助をしています。本年度は、空長屋2棟分、不良住宅が3棟分の予算です。相談件数に対し十分な額ではありませんが、来年度以降も制度を継続したいと考えています。

【答弁】職員で現地確認、調査を行い判明した所有者等へ文書通知をして、所有者等からの連絡等があれば



飯守 康洋

むつみ荘跡地について

【飯守】むつみ荘跡地の現状は。  
【答弁】普通財産として施設保全の管理を行っています。

【飯守】今後の利用計画はあるのか。

【答弁】本庁舎周辺に位置し、公共施設も近接していますので、周辺と併せた有効的な場所と認識しています。跡地の利用計画は決定していません。

【飯守】解体という考え方もあるのでは。

【答弁】解体については、新たな施設利用が決まる時点で解体時期を決定したいと思っています。



新公立病院開院後の市立病院の取り扱いについて

【飯守】新公立病院開院後の市立病院の取り扱いは。

【答弁】新病院の分院、サテライト診療所としての利用は考えていません。

【飯守】現市立病院は聖廟、西溪公園、歴史資料館、学校等がある多久町の中心地域なので、今後の利用については、まちづくりの一環として早めの検討をするべきでは。

【答弁】今後の活用については、知恵を絞り、情報を集め、市民の皆様のお気持ちも聴きながら、しっかりと丁寧に対応していかなければならないと思っています。



野北 悟

新公立病院建設について

【野北】建設候補地が浸水想定区域内に在ることから、私自身はこの場所に建設する事には反対ですが、何故この場所なのか。

【答弁】両市民の利便性、医療の地域バランス、中長期的に安定した医療提供体制、経営の安定性などの要件を総合的に判断して考慮し、適地とする旨の報告を受け、新病院を当該地に建設整備することを両市で合意しました。

【野北】全体的な市の将来図が描けないまま、個別バラバラで物事を考える最終的には多額の税金を使っているにもかかわらず、投資に見合った効果が出ず、市民の利益につながる効果的な行政運営ができていないのではないか。

【野北】国が認めた事業だからとの発言があったが、それは公立病院を統合して地域医療の確保を図る事業自体を評

価したものであって、建設候補地を評価したものではない。  
【答弁】今回の質問の趣旨は、少し時間をかければ、色々な見方ができるとのご指摘だと思いますが、明確に正解といえる答えはないと思います。様々な課題には一つひとつ丁寧に力を尽くし解決していきたいと思えます。



【その他の質問】

北多久公民館の建て替えについて



田淵 厚

コロナ禍における学校の現状について

【田淵】児童生徒に感染者が出た時の対応、また、感染した児童生徒や家族への誹謗中傷、いじめが心配されるがその対応は。

【答弁】保健所や県教育委員会、市の対策本部等情報を共有し、保健所が感染経路及び濃厚接触者を確定し同時に学校施設の消毒を行います。これが完了するまでやむを得ない場合臨時休校もあり得ます。

誹謗中傷等は学校現場でも特に気をつけて指導をしています。新型コロナウイルス感染症を起因とするいじめは絶対許されるものではなく、安心して学校生活を送れるよう全職員で対応します。

学校行事について

【田淵】非常に短い夏休み後の2学期開始で体育祭等の行事があるが児童



【答弁】生徒たちは元気で登校し、体育祭の練習は健康対策、熱中症対策をし、大会規模の縮小、保護者の制限等がある中で行います。医療関係者は勤務先でいろいろな制限が異なりますので、個別に対応を配慮します。